



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
 コード番号 4099 URL http://www.shikoku.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 C. E. O. (氏名) 田中 直人
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・情報システム部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,823	3.7	1,729	11.6	1,782	△4.5	1,209	△2.0
2019年3月期第1四半期	12,364	△0.1	1,549	△18.7	1,866	△12.9	1,234	△13.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 286百万円(△59.8%) 2019年3月期第1四半期 711百万円(△66.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第1四半期	円 銭 20.71	円 銭 —
2019年3月期第1四半期	21.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第1四半期	百万円 89,898	百万円 70,011	% 77.0
2019年3月期	92,191	70,370	75.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 69,232百万円 2019年3月期 69,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 22.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,800	2.7	3,400	△1.2	3,600	△3.9	2,400	△5.6	41.08
通期	53,500	1.3	8,200	1.9	8,500	0.8	5,800	7.5	99.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	58,948,063株	2019年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	527,764株	2019年3月期	527,764株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	58,420,299株	2019年3月期1Q	58,420,775株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用環境を受けて個人消費は緩やかな回復を続けているものの、中国を中心とした海外経済の減速に伴い輸出や鉱工業生産が低迷し、企業収益が頭打ちとなるなど、先行き不透明な状況となっております。

一方、世界経済は、中国では貿易摩擦の激化やICT関連の需要鈍化による景気減速が続き、米国では好調を維持するものの、企業景況感が大きく鈍化するなど下振れリスクが高まっています。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）の当社グループの売上高は128億23百万円（前年同期比3.7%の増収）、営業利益は17億29百万円（前年同期比11.6%の増益）と、前年を上回りましたが、為替差損の発生等により経常利益は17億82百万円（前年同期比4.5%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は12億9百万円（前年同期比2.0%の減益）と、前年を下回りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

無機化成品では、ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、国内外ともに底堅く推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、堅調に推移しました。

有機化成品は、殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品で米国市場が好況を維持しており、堅調に推移しました。

ファイン ケミカルは、全般に米中貿易摩擦を主因とする電子部品関連の市況停滞の影響を受け、プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースを主力製品とする電子化学材料は横ばいで推移しましたが、エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は低調に推移しました。

この結果、化学品事業の売上高は78億54百万円（前年同期比2.1%の減収）、セグメント利益は15億14百万円（前年同期比4.0%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

②建材事業

前期下期より発生した災害復旧需要や危険な塀関連需要などを背景に、エクステリアの販売が好調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は48億21百万円（前年同期比15.0%の増収）、セグメント利益は7億4百万円（前年同期比55.8%の増益）と、いずれも前年を上回りました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	3,140	3,149	100.3
有機化成品 (百万円)	2,839	2,859	100.7
ファイン ケミカル (百万円)	2,044	1,844	90.2
小計 (百万円)	8,024	7,854	97.9
建材事業			
壁材 (百万円)	446	419	93.8
エクステリア (百万円)	3,746	4,401	117.5
小計 (百万円)	4,193	4,821	115.0
報告セグメント計 (百万円)	12,218	12,675	103.7
その他 (百万円)	146	148	101.3
合計 (百万円)	12,364	12,823	103.7

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	1,851	15.0	1,970	15.4
北米	1,260	10.2	1,471	11.5
その他の地域	739	6.0	523	4.1
合計	3,851	31.1	3,965	30.9
連結売上高	12,364		12,823	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比22億92百万円減少し、898億98百万円となりました。主な増加は、有価証券35億円、主な減少は、現金及び預金30億99百万円、投資有価証券13億22百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比19億33百万円減少し、198億87百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金13億56百万円、未払法人税等3億48百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比3億59百万円減少し、700億11百万円となりました。主な減少は、その他有価証券評価差額金9億12百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.5%から77.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び業績予想は、当初の計画(2019年4月25日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、105円/米ドル、125円/ユーロと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,641	23,541
受取手形及び売掛金	14,496	13,493
電子記録債権	2,149	2,156
有価証券	3,800	7,300
商品及び製品	6,158	5,758
仕掛品	47	45
原材料及び貯蔵品	3,233	3,289
その他	310	231
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	56,836	55,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,327	5,244
機械装置及び運搬具（純額）	4,506	4,218
土地	8,835	8,835
建設仮勘定	112	242
その他（純額）	734	667
有形固定資産合計	19,515	19,208
無形固定資産	176	155
投資その他の資産		
投資有価証券	14,390	13,068
繰延税金資産	647	1,025
その他	627	628
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	15,662	14,718
固定資産合計	35,355	34,083
資産合計	92,191	89,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,430	7,073
電子記録債務	439	454
短期借入金	1,930	1,930
1年内返済予定の長期借入金	914	945
未払法人税等	940	592
役員賞与引当金	66	15
その他	3,985	3,787
流動負債合計	16,707	14,799
固定負債		
長期借入金	680	708
繰延税金負債	23	6
再評価に係る繰延税金負債	1,111	1,111
役員退職慰労引当金	111	73
退職給付に係る負債	2,219	2,239
資産除去債務	378	378
その他	587	568
固定負債合計	5,113	5,087
負債合計	21,820	19,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,740	5,740
利益剰余金	51,798	52,365
自己株式	△322	△322
株主資本合計	64,084	64,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,199	2,287
繰延ヘッジ損益	△4	8
土地再評価差額金	2,533	2,533
為替換算調整勘定	△93	△117
退職給付に係る調整累計額	△137	△131
その他の包括利益累計額合計	5,498	4,580
非支配株主持分	788	779
純資産合計	70,370	70,011
負債純資産合計	92,191	89,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	12,364	12,823
売上原価	7,606	7,777
売上総利益	4,758	5,046
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	987	1,110
広告宣伝費	239	219
給料	570	575
役員賞与引当金繰入額	17	18
退職給付費用	47	46
役員退職慰労引当金繰入額	5	5
研究開発費	288	291
その他	1,051	1,049
販売費及び一般管理費合計	3,208	3,317
営業利益	1,549	1,729
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	284	215
為替差益	62	—
雑収入	5	4
営業外収益合計	353	223
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	30	33
為替差損	—	99
たな卸資産廃棄損	—	25
雑損失	1	6
営業外費用合計	36	170
経常利益	1,866	1,782
特別利益		
固定資産売却益	2	1
補助金収入	—	44
特別利益合計	2	45
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,868	1,827
法人税等	632	617
四半期純利益	1,236	1,209
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,234	1,209

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,236	1,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△526	△917
繰延ヘッジ損益	△34	13
為替換算調整勘定	31	△24
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	△524	△923
四半期包括利益	711	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718	292
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,024	4,193	12,218	146	12,364	—	12,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	1	79	81	△81	—
計	8,025	4,194	12,220	225	12,445	△81	12,364
セグメント利益	1,577	452	2,029	11	2,040	△490	1,549

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△490百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,854	4,821	12,675	148	12,823	—	12,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	56	57	△57	—
計	7,854	4,821	12,676	204	12,881	△57	12,823
セグメント利益	1,514	704	2,219	6	2,225	△495	1,729

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△495百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△495百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。